

【研究部会の2020年度方針】

＜教育への権利部会＞

1. 教職員の多忙化問題の検討

教職員の勤務実態に関するデータの収集を引き続き行う。

2. 給特法改正に伴う各地の状況の調査検討

各自治体の勤務時間の上限指針の作成状況、内容および1年単位の変形労働時間制導入の状況を調査・分析し、問題点を明らかにする。

3. 部活動問題の検討
名古屋市の小学校の部活動の民間委託、ガイドラインの策定状況、部活動の実践例の検証を行う。

4. 愛知県・名古屋市の教育行政の動向の検討

公立高校の入試制度、学校統廃合などの動向分析、資料収集を行い、必要に応じて提言等を行う。

5. 保護者・市民向けの提言・パンフの作成

多忙化問題、部活動問題などで保護者・市民向けの提言・パンフを作成し、世論を喚起する。

6. 毎回の活動内容の紹介

例会内容を会員向けのメーリングリスト、「愛知の教育を考えるブログ」で紹介する。

例会の資料をPDF化し会員に提供する。

付記：コロナ感染症対策として外出自粛が要請されている状況下で、例会の開催方法についてはWEB会議などを導入するなどの工夫する。

＜高校入試と中等教育問題部会＞

1 活動方針

① 県教委の高校教育推進基本計画(2015～24年)の具体化と入試関係審議会(入選協等)の動向を調査・検討する。

② とりわけ、新版複合選抜方式見直し検討会議(仮称)に対しては、結論が出される前に、繰り返し部会の意見書・要請書等を提出する。

③ 新版複合選抜方式を中心とする愛知の高校入試制度の問題点を分析する。

④ 『知る・わかる・考える愛知の高校入試』(18年11月刊)を普及する。

⑤ 定通父母の会と連携し、定時制・通信制高校及び「広域通信制・サポート校」等の現状について問題点をつかみ、打開策をまとめる。

⑥ コープあいちのくらしのテーマグループ「高校進学を考える会」に協力し、父母・中高生、県民の要求をつかむ。ただし、コープあいちの組合員活動が解禁されるまでは、実施しない。

2 活動計画

(1) 月例会　ーコープあいち本山生活文化会館が再開されるまでは中止とし、下記の従来定例会の期日を中心に、インターネットを介して情報や意見の交換をおこなう。（第3土曜・午前）

主なテーマ・内容

5月16日

- ① 公立新旧推薦選抜の5年間(旧16→新17～20年)の変化を探る1
- ② 県教委会議への19公立入試結果報告の検討
- ③ 新版複合選抜方式見直し検討会議への意見書1の作成

6月20日

- ① 入選協への県教委報告(19公立入試結果)の検討ー特に大幅定員割れ問題
- ② 入選協への県教委の諮問事項の検討
- ③ 公立新旧推薦選抜の5年間(旧16→新17～20年)の変化を探る2

7月18日

- ① 県教委諮問への入選協答申の検討
- ② 県立高校教育推進計画による高校改編の点検
- ③ 新版複合選抜方式見直し検討会議への意見書2の作成

9月19日

- ① 20進路状況(学校基本調査速報)の検討ー愛知県・名古屋市

10月17日

- ① 中3進路希望状況調査結果(第1回)の検討
- ② 高校進学を考える会ー進路説明会・相談会54～55への協力準備

11月21日

- ① 新版複合選抜方式見直し検討会議への意見書1の作成

☆高校進学を考える会ー進路説明会・相談会54

12月19日

☆高校進学を考える会ー進路説明会・相談会55

1月16日

新版複合選抜方式見直し検討会議への意見書3の作成

3月18日

- ① 定通父母の会の取り組みから学ぶ
- ② 20年度活動総括

☆高校進学を考える会ー相談会56

＜教育実践部会＞

- ① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置のもと、現場の実態、家庭での親子の実態等を調査し、休校時の教育保障のあり方、学校の役割、地域での社会教育のあり方等について研究を進める。
- ② オンライン授業と文科省が進める「個別最適化教育」についての検討を進める。
- ③ 会員を問わず、授業実践や研究を報告し合い、検討する。
- ④ 民研全体企画として、美術館での「鑑賞教育」を実体験する。
- ⑤ 2ヶ月に1度をめどに、研究協議を行う。

＜現代における人間形成部会＞

基本的には昨年度の方針を受け継いで、各自のかかえている具体的な日常の諸問題を通じて懇談・学習を発展させていく。特に今年度からは、次の点を重視していく。

- ① 本部会の活動の内容や形態と関連させて「あいち民研」の各部会（特に「教育実践部会」「子育て親育ち部会」など）や「あいち民研」全体との共催の会合などの共同の取り組みを提起していく。
- ② 一般市民や教育関係者・若者達などの「あいち民研」への繋がり窓口としての本部会の位置づけを重視して、親（保護者）や学生・卒業生などへの「あいち民研」の活動や会員・サポーターへの勧誘を積極的に勧めていく。
- ③ 本部会の初期の頃からの参加者や責任者達の高齢化や個人的事情によって、本部会の現在の運営面で困難が生じているので、部会責任者の次世代への引継ぎと以前の参加者への個別の働きかけを重視していく。

＜子育て親育ち部会＞

子育ての悩みを気軽に語る会をつくる。話し合いの中から出されたことで、改善できそうなことを発信していく。今後も困っている人たちの声をていねいに聴き取り、私たちの声として、発信していく。